

令和4年度指導計画 (家庭)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	家庭	総時数	17.5時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい技術・家庭 家庭分野』				
副教材等	明治図書『技術家庭総合ノート 家庭分野』				

1 学習目標

実践的・体験的な学習活動をとおして、一人の生活者としての基礎的な知識と技術を身につけさせる。また、自分の家庭生活や地域の生活に深い関心を持ち、課題をもって生活を改善充実しようとする能力と、積極的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 消費生活では、モノ・サービスの適切な選択・購入・活用ができるようにする。
- ② 住生活では、家族が住まう空間としての住居の機能、安全で快適な室内環境の整え方を知る。
- ③ 環境では、自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した生活を送る意識を高める。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	10	私たちの消費生活	消費者としての自覚	さまざまな販売方法、支払方法があることを知る。	3	授業の取組
5	11		消費者の権利と責任	消費者問題と消費者保護について知る。	3	授業の取組 視聴覚学習
6	12	環境	持続可能な社会	環境に配慮した生活について学ぶ。	2	授業の取組
7	1	私たちの住生活	住まいの役割	住まいの役割と日本特有の住まい方を知る。	2	授業の取組 視聴覚学習
8	2		住まいの安全	安全で快適な住まいについて理解する。	3	授業の取組
9	3	会食		会食の計画を立て、実践する。	4.5	定期テスト プリント

計 17.5 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・視聴覚学習プリント
- ・調理実習プリント

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(主体的に学習に取り組む態度)	(思考・判断・表現)	(知識・技能)
衣食住や家族の生活などに関心を持ち、これからの家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとしている。	衣食住や家族の生活などを見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫している。	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・プリントなどの提出物 ・定期テスト などから、総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

3年生では「消費生活」「環境」「住生活」の分野を学びます。前期課程の最終学年となりました。自分の家庭生活について考え、自立した生活に向けて取り組んでいきましょう。

(担当：倉茂)